

# 周南市と高雄市の観光産業アライアンス構築への試み 日台・台日観光論壇2016を通じて

Attempts to build tourism industry alliances in Shunan and Kaohsiung City  
Through the Japan / Taiwan Tourism platform 2016

陳 福川・陳 千浩・甘 唐沖・陳 彦龍  
李 一民・李 岳道・紙矢健治

## I. はじめに

### I-1. 研究小組を代表して（紙矢）

2011年度から徳山大学が「海外研修（OSP（B）台湾）」で夏季休暇中に実施して7年目となる。1週間の日程で台湾各地において実施する研修であるが、すでにメディアや観光、航空、福祉などの分野での就業体験が行われ、その6回の実施のプロセスにおいて台湾側のルートは拡大してきた<sup>1)</sup>。2015年春、周南市の木村健一郎市長より、台湾との観光交流を推進したいとの提案をいただき、さっそく現地の元同僚たちに相談し、周南市における「日台観光産業論壇」（2016年7月）と高雄市における「台日観光産業論壇」（2016年10月25日）の共同・連動開催のアイデアをまとめ、周南市と徳山大学、国立高雄餐旅大学（以下、高雄餐旅と略す）、国立高雄応用科技大学を軸に、共に両都市間の観光産業アライアンスを構築することを目指し行動にうつすことにした。これにより2016年度において周南市側は地域振興部観光交流

---

1) OSP（B）の内容については、下記を参照されたい。

紙矢健治「海外就業体験プログラム台湾（2011）実施報告」『徳山大学論叢』（73号）、p207-2016.

紙矢健治等「大学・銀行協働による海外就業体験プログラム

－PBLとしての徳山大学OSP2014台湾の実践－」『徳山大学論叢』（79号）p55-65.

紙矢健治等「大学間協定を軸とする地域間相互発展モデルづくり-徳山大学と国立高雄餐旅大学の交流を通じた試み」『徳山大学論叢』（81号）p71-81.

紙矢健治等「日本・台湾の4者連携による国際メディア・リテラシー教育活動について」『徳山大学論叢』（83号）、2016年12月、p53-67.

課による予算、高雄餐旅側は陳福川博士が「教育部（省）区域産学合作中心105年度推動區域産学聯盟活動 台日觀光産学聯盟」計画予算を確保し、台湾側策定・実行担当者（中国語：主持人）である陳博士と周南市との緊密な連絡および実施案のアレンジが実務者間で行われ周南市側のモニターツアーとトップセールスとのコラボレーションによる実施とした。こうした周南市側は周南市側が、高雄餐旅側は高雄餐旅側がそれぞれの部分を担当し、予算的にも高雄市側のシンポジウムの実施は高雄餐旅側の負担として実施した。管見の範囲ではこうした国際協働の取り組みの前例は見当たらず、画期的なものと言える。

I -2. 徳山大学OSP（B）実施実績（2011-2016）について

徳山大学OSP（B）は2011年度に海外就業体験プログラム台湾（2011）として、同年8月（夏季休暇中）に実施された。翌2012年度には、正式な科目（2単位）として実施されるようになった。おおむね5日間以上の研修期間を確保し、渡航に関する費用は5万円が教務部予算から補助を受けることができる。なお、研修期間については表1を参照されたい。

（表1）徳山大学海外就業体験プログラム実施内容

No.	名 称	研修期間（内容）
1	海外就業体験プログラム 2011台湾	高雄市：伊甸基金会、随喜家園、国立高雄餐旅大学 台南市：徳輝苑（高齢者入所・通所施設）
2	OSP（B）2012台湾	高雄市：オスカー3D劇場（シネマコンプレックス）、 文化省衛武营芸術文化中心、FTV民視、PTS台湾公共テレビ他
3	OSP（B）2013台湾	PTS台湾公共テレビ
4	OSP（B）2014台湾	台北市：三普旅行社、三賢旅行社（HIS台湾）、遠東航空、 復興航空、美祿市台北事務所、台北城市科技大学 高雄市：PTS台湾公共テレビ、国立高雄餐旅大学、 東方設計学院

5	OSP (B) 2015台湾	高雄市：PTS台湾公共テレビ、台湾横河、ART101、国立高雄餐旅大学他
6	OSP (B) 2016台湾	KRY山口放送、FTV民間全民テレビ、徳山大学、長榮大学4者による国際メディア・リテラシー（山口放送が日本民間放送連盟「よりよい放送のために」助成対象事業に採択された） 台南市「林百貨」において撮影研修を実施

（出所）授業担当者の紙矢が作成した。

## II. 参画者の概要

### II-1. 参画者（筆者）について

本稿の筆者は、直接この交流に参加した7名である。7人は担当部分の執筆以外に重要な役割分担を行った。筆者1（陳福川）は国立高雄餐旅大学観光学院専任助理教授である。「教育部区域産学合作中心105年度推動区域産学聯盟活動 台日観光産学聯盟」の策定実行担当者（中国語：主持人、本稿では「主幹」と訳した）である。エバー航空出身であり、台湾国内外の航空・観光業界に太いパイプを持つ。筆者2（陳千浩）は、著名なソムリエである。7年の時間をかけて醸造した「埔桃酒」は、フランスや英国、ドイツで開催された世界的なコンペティションで数々の受賞歴を持つ<sup>2)</sup>。周南市の美酒（清酒）を台湾に紹介するグルメツーリズムを進める役割を果たす。筆者3（甘唐沖）は旅行社の業界での事情に詳しい。国立高雄餐旅大学観光学院旅運管理系専任助理教授であり、同学科主任もつとめた。筆者4（陳彦龍）は、長榮大学人文社会学院大衆伝播学系助理教授である。今回の高雄におけるトップセールスの30分を超える番組の撮影を担当した。筆者5（李一民）は、南台湾観光産

2) 「Union des Oenogues de France」と「Orgnaisation Internationale de la Vigne et du Vin」が主催した20回「VinaLies Internationales」(3503銘柄出品)において、金牌を受賞した。詳しくは台湾アップルデイリー（2014年3月7日付）  
<http://www.appledaily.com.tw/realtimenews/article/new/20140307/356247/>  
『自由時報』樹生紅埔桃酒』、上個月在「德國世界酒類競賽（Mundus Vini）」6200銘柄の中から選ばれた。

<http://news.ltn.com.tw/news/life/paper/1084830>

『今週刊』第909期「陳千浩點酒成金 釀出大獎常勝軍」などを参照されたい。

業連盟・委員を務める。また、国立高雄応用科技大学管理学院院長（専任教授）をつとめ、観光業界に対して大きな影響力を持つ人材の一人である<sup>3)</sup>。筆者6（李岳道）は、現地における実務のとりまとめも担当した。徳山大学のOSP(B)の過去6回の実施に全面的な協力を行ってきた。長榮大学兼任講師をつとめながら、現在は珠海学院文学院中国歴史研究所博士候補人である。筆者7（紙矢健治）は、徳山大学経済学部教授である。1997年2月から2010年9月まで国立高雄餐旅大学専任講師（1997年2月-2001年7月）、専任副教授（2001年8月-2010年9月）をつとめた。2010年10月より徳山大学経済学部教授をつとめている。

## II-2. 参画大学について

### 2-1 国立高雄餐旅大学

1995年12月に国立高雄餐旅管理専科学校として創立され、2000年8月には国立高雄餐旅学院（大学）に昇格、その後、2010年8月から国立高雄餐旅大学となった。林玥秀博士・教授が2016年4月から校長（学長）をつとめている<sup>4)</sup>。学生数は大学および大学院を含めると約4,300人である。国立大学であるため、事実上、学生数の量的規制があるので、同規模の私立大学では1万人の規模に相当する。餐旅学院（ホスピタリティ学部）、観光学院（観光学部）、厨芸学院（厨房技芸学部）および国際学院（国際学部）の4学部に加え、ホスピタリティやツーリズム、フード&ビバレッジ領域の大学院もある。日本の総合教育・教養課程に相当する通識教育中心や社会人向け（生涯教育）の推广教育中心に加え、附属高校・中学もある上、日本の5年制高等専門学校に相当する「餐旅管理科」（通称：五専部）がある。

### 2-2 国立高雄応用科技大学

高雄市三民区建工路にある総合大学である<sup>5)</sup>。学生数は学部と大学院を合

3) 国立高雄応用科技大学 <http://www.kuas.edu.tw/>

管理学院(経営学部)に相当する)院長をつとめ、南台湾観光聯盟理事など外部委員も務める。

4) 筆者は2015年9月と2016年3月に直接面会した。

2017年6月 紙矢健治他6名：周南市と高雄市の観光産業アライアンス構築への試み 日台・台日観光論壇2016を通じて

わせると12,000人を超える総合大学である。楊慶煜博士が校長をつとめる<sup>6)</sup>。電資学院（電子情報学部）、工学院（工学部）、管理学院（経営学部）、人文社会学院（人文社会学部）の4つの学部から構成される。

### Ⅲ. 実施までの準備について

筆者7（紙矢）が、2015年9月8日に国立高雄餐旅大学を直接訪問し、周南市の観光インバウンドの魅力について、国立高雄餐旅大学の陳福川、陳千浩、甘唐沖、国立高雄応用科技大学の李一民、珠海学院博士候補人の李岳道が周南市の観光資源のパッケージ化について協議を行った。事前の調整において、陳千浩博士の提案で、周南市の名酒を持参し、周南市観光の目玉にできないかどうかの提案があった<sup>7)</sup>。



(写真1) 高雄餐旅大学ソムリエ実習教室① (写真2) 高雄餐旅大学ソムリエ実習教室②



(写真3) 宮円日本料理への持参① (写真4) 宮円日本料理への持参②

5) 高雄市三民区建工路に建工キャンパス、郊外に燕巢キャンパスがある。伝統的に工学系が強い大学であるが、管理学院には観光管理系暨観光與餐旅管理研究所があり、本計画において重要な役割を果たした。

6) 筆者は、2016年8月15日に直接、楊慶煜校長に面会した。

7) トップセールス実施時は、市内全銘柄を持参した。

#### IV. 「教育部区域産学合作中心105年度推動區域産学聯盟活動 台日 観光産学聯盟」計画について

##### IV-1. 台湾側計画の目標

本研究計画の目標は、台日両国の観光産業間の交流の強化し、その協力関係を相互発展の主軸とするために、台湾（高雄市）と日本（周南市）間に高雄餐旅と徳山大学を拠点とする「産学合作聯盟（観光産業アライアンス）」を構築する。この2つの拠点を中心として、台湾の総合旅行社の経営者と国立高雄餐旅大学、国立高雄応用科技大学、国立高雄師範大学および徳山大学の学者が共同して台湾（高雄市）と日本（周南市）の観光産業における協力強化に関わり、両国の観光産業間の相互発展と協力のための常設のプラットフォームをつくることを「目的」とする。

##### IV-2. 実施方針

- ①台湾と日本の常設の産学合作聯盟（観光産業アライアンス）を構築する。
- ②台湾と日本の常設の観光産業アライアンスのよる相互の発展モデルを構築する。

##### IV-3. 具体策

- ①高雄餐旅側は日本線に強い台湾の総合旅行社を結集し、産学合作聯盟（台湾側の観光産業アライアンス）を構築する。
- ②徳山大学側が周南市の行政と観光産業関係者と緊密な連携をとり、産学合作聯盟（日本側の観光産業アライアンス）を構築する。
- ③高雄餐旅・徳山大学が双方の産学合作聯盟（観光産業アライアンス）交流のプラットフォームを構築する。
- ④台湾と日本の産学合作聯盟（観光産業アライアンス）は、共同して台湾と日本の観光商品の開発とプロモーションを行う。

2017年6月 紙矢健治他6名：周南市と高雄市の観光産業アライアンス構築への試み 日台・台日観光論壇2016を通じて

(表2) 教育部区域産学合作中心 105年度推動区域産学聯盟活動 台日観光産学聯盟チーム (申請時のもの)

計画テーマ	スタッフ所属 及び職位	スタッフ (本計画ポジション)	大学名
台日観光産学聯盟	徳山大学経済学部教授	計画名誉主幹 紙矢健治 専任教授	徳山大学
	国立高雄餐旅大学航空 暨運輸服務管理系	計画主幹 陳福川 専任助理教授	国立高雄餐旅大学
	国立高雄餐旅大学餐飲 管理系	計画共同主幹 甘唐沖 専任副教授	国立高雄餐旅大学
	国立高雄餐旅大学餐飲 管理系	計画共同主幹 陳千浩 専任助理教授	国立高雄餐旅大学
	国立高雄応用科技大学 管理学院觀光管理系	計画共同主幹 李一民 専任教授兼院 長	国立高雄応用科技大学
	国立高雄師範大学実習 就業処	計画協同主幹 蔡天助 助理教授	国立高雄師範大学

(出所) 教育部及び国立高雄餐旅大学

<http://www.nkuht.edu.tw/app/news.php?Sn=990#>

#### IV-4. 計画の進捗

本計画の重点は、周南市での「周南市日台観光産業論壇2016」と「台日観光産業論壇2016」である。前者は周南市のモニターツアーと、後者は周南市のトップセールスと連動して実施した。

(表3) 2016年度「教育部区域産学合作中心 105年度推動区域産学聯盟活動 台日観光産学聯盟」スケジュール

月	準備の進捗内容
3月	計画主幹である陳福川博士により日本路線を主要業務とする台湾国内の総合旅行社との訪問、周南市との交流の提案
4月	国立高雄餐旅大学（陳福川研究室）、徳山大学（紙矢健治研究室）において観光産業アライアンス、ホスピタリティ分野でのプラットフォーム体制の完成
5月から8月	周南市日台観光産業論壇2016開催

9月	周南市トップセールス実施についての準備会議
10月下旬	台日観光産業論壇2016開催 研究計画完了

## V. 周南市モニターツアーについて

### V-1. モニターツアー参加者

従来のモニターツアーとの差別化を図るために、著者1（陳）を中心に現地旅行社の経営者への参加を働きかけ、長汎旅行社股份有限公司、Ever Fun Travel Services Corp.（長汎旅運）の呉景明董事長、五福旅行社股份有限公司の陳世雄副董事長および喬安綜合旅行社股份有限公司の蘇惠美總經理の招くことができた。また、筆者1（陳）、筆者2（陳）および筆者3（甘）の3名が学界の専門家として同行した。

（表4）周南市モニターツアー観光産業経営者参加者

会社名称	本社所在地	国内拠点	招待者氏名
長汎旅行社股份有限公司	台北市	7	呉 景明 董事長
五福旅行社股份有限公司	台北市	6	陳 世雄 副董事長
喬安綜合旅行社股份有限公司	高雄市	2	蘇 惠美 總經理

#### ①長汎旅行社股份有限公司

長汎旅行社股份有限公司は長榮航空（エバー航空）直営の旅行社である。「長汎假期」と略される。台湾国内には7か所に拠点を持つ総合旅行社である。今回招待したモニターツアー団長である呉景明氏は同社の董事長をつとめており、また長榮航空元總經理（社長）である<sup>8)</sup>。

8) 董事長とは代表取締役会長に相当する。また總經理とは社長に相当するポストである。



### ②五福旅行社股份有限公司

日本路線大手の五福旅行社は、台北に本社を置き、国内6都市に拠点を置く。陳世雄副董事長は日本通で知られる上、すでに山口県地域振興部観光交流課との交流は10年以上続いている。管見の範囲では、同社がかかわるツアーによる台湾-山口宇部チャーター便運航（中華航空、遠東航空）は2009年度から多数就航している。陳氏は山口県内の観光振興に積極的であり県内は周防大島まで自ら出向いている。日本語に精通し、今回のモニターツアーでも重要な役割を果たした。また、同社の台湾から日本への送客シェアは高い。従業員数730人を擁する。

### ③喬安綜合旅行社股份有限公司

喬安綜合旅行社股份有限公司は、南台湾を拠点とする総合旅行社として、1992年に設立以来、海外総客数は、のべ60万人、ひと月あたりの出国団体数も600を超える規模となっている。約690万人を擁する「南台湾（雲嘉南高屏）地区」において絶大な信用を持つ旅行社である。同社は今回の高雄市でのトップセールスの重要なディティネーションであった。

## V-2. 周南市モニターツアーの実施スケジュール

本モニターツアーは周南市地域振興部観光交流課予算で実施された。表4の通り充実した内容となった。このうち2016年7月26日（火）の「周南市日台観光論壇2016」は徳山大学と国立高雄餐旅大学の交流協定の一環として実施されたので、周南市の予算はかからなかった。

(表5) 台湾の旅行業者等を対象としたモニターツアーの実施日程

月 日	時 間	内 容	備 考
7月25日(月)	19:20	福岡空港国際線ターミナル到着	BR120KHH / FUK
	20:27	こだま766号乗車	
	21:33	徳山駅到着	
	21:45	ホテルサンルート徳山到着	
7月26日(火)	09:30	周南市 木村健一郎市長表敬訪問	周南市役所 貴賓室より参観 (競艇の体験)
	10:30	(報道各社の取材を受ける) 徳山競艇視察	
	13:30	(TYSテレビ山口の取材を受ける) 「周南市 日台観光産業論壇2016」	徳山大学 湯野温泉 新南陽地区
	18:00	湯野温泉「芳山園」	
	19:30	工場夜景観賞	
7月27日(水)	08:00	専用車	巨峰ワインなど特産品を購入 周南市酒蔵 展示物などを視察 動物園  スタジオなど大規模 テレビスタジオ参観
	08:10	道の駅「ソレーネ周南」視察 (KRY山口放送の取材を受ける)	
	09:00	株式会社はつもみち酒蔵体験	
	10:20	周南市文化会館視察	
	11:10	周南市立徳山動物園視察	
	12:00	昼食	
	13:00	KRY山口放送表敬訪問	
	15:00	鹿野での和紙づくり体験	
	17:00	周南市鹿野の民泊体験(宿泊)	
7月28日(木)	09:00	鹿野地区を視察 (漢陽寺、二所山田神社、清流通等) 昼食	市内視察
	12:00	児玉神社、旧日下医院など4か所を 視察	
	13:15	視察	
	17:15	さくら563号で徳山駅を出発	
	18:00	博多駅到着後、福岡空港国際線ターミナルへ移動。	
	18:20	エバー航空(全日空)カウンターで チェックイン	
	20:20	BR119便に搭乗	
	22:50	高雄小港国際空港に到着	

(出所) 周南市ホームページ



(写真5) 木村市長を表敬訪問 (7月26日)



(写真6) 周南市日台観光産業論壇2016①



(写真7) 周南市日台観光産業論壇2016②



(写真8) 周南市日台観光産業論壇2016③

## VI. 周南市トップセールスの実施

周南市地域振興部観光交流課企画の木村市長のトップセールスは2016年10月24日(月)から26日(水)までの日程で実施された<sup>9)</sup>。このうち10月25日(火)の「台日観光産業論壇2016」は、周南市と高雄市の交流を前提に行われたので、木村市長が主賓であった。また、このイベントのみ台湾側の研究計画として国立高雄餐旅大学が主催し、国立高雄应用科技大学と徳山大学の協力で実施された。観光産業関係者とのルートづくりは、国立高雄餐旅大学側が全面的にアレンジした。

9) 周南市役所ホームページを参照されたい。

[http://www.city.shunan.lg.jp/data/open/cnt/3/15481/1/03\\_taiwan.pdf](http://www.city.shunan.lg.jp/data/open/cnt/3/15481/1/03_taiwan.pdf)

(表6) 国立高雄餐旅大学2016.10.25 (二) 歓迎 木村市長一行来訪スケジュール  
(高雄市・周南市・台日観光産業論壇)

月 日	時 間	内 容	地 点 / 通 訳	備 考
10月 24日 (月)	15:54 16:39 20:20 22:10	徳山駅 発 (のぞみ29号) 博多駅 着 福岡空港発 高雄国際空港 着 ホテル チェックイン	移動	日本来訪貴賓總共 4位 周南市長と合流
10月 25日 (火)	AM 14:00 14:10 14:20 15:00 16:00 18:00	五福、喬安旅行社への訪問 PTS台湾公共テレビ表敬訪問  国立高雄餐旅大学行政ビル車 寄せ到着 7階校長 (学長) 室表敬訪問 シンポジウム開会、記念撮影、 主賓 (木村市長) 紹介 木村健一郎市長による周南市 売り込みのプレゼンテーショ ン 15:00 学界/観光産業界来賓挨拶 木村市長にエンブレム贈呈 (政府感謝牌) 閉幕 16:00 キャンパス視察 18:00 行政ビル車寄せにてお見送り 晩宴: 宮円での意見交換会	市内  高雄餐旅大学  学長室 国際会議場	*潘江東副校長 *陳紫玲國際長 *国立高雄応用科 技大學管理学院 長、台南応用科技 大學管理学院長を はじめ産官学から 130名が参加。
10月 26日 (水)	AM PM 15:30 19:20 20:27 21:33	高雄市政府への表敬訪問 企業への訪問 (以下、周南市長等の予定) 15:30 高雄国際空港 発 19:20 福岡空港 着 20:27 博多駅 発 (こだま766号) 21:33 徳山駅 着	高雄市政府	観光PR参加社  周南市長、周南市 秘書共2人
10月 27日 (木)	AM PM 15:30 19:20 20:27 21:33	各旅行者への訪問 市内視察 15:30 高雄国際空港 発 19:20 福岡空港 着 20:27 博多駅 発 (こだま766号) 21:33 徳山駅 着	市内  移動	観光PR参加社  周南市職員1人、 学識経験者

(出所) 周南市ホームページ及び参画者による実施記録に基づく。

2017年6月 紙矢健治他6名：周南市と高雄市の観光産業アライアンス構築への試み 日台・台日観光論壇2016を通じて



(写真9) 高雄市政府訪問



(写真10) PTS台湾公共テレビ訪問



(写真11) 国立高雄餐旅大学での「台日観光産業論壇2016」  
(前列一番右は呉景明董事長である)



(写真12) 五福旅行社陳副董事長表敬訪問



(写真13) 喬安綜合旅行社蘇總經理表敬訪問



(写真14) 国立高雄餐旅大学ソムリエ教室での交流

## Ⅶ. モニターツアー参加者による建議

### Ⅶ-1. 台湾教育部産学中心 台日観光聯盟プロジェクト主幹 陳福川博士（筆者1）の原文

まず、周南市の木村健一郎市長をはじめ周南市役所の招きにより、台湾の主要3社の旅行社の経営者とともに周南市を訪れ、交流できたことを通じて、これからの長いお付き合いができることになったことを誠によろこばしく存じます。日本と台湾の観光や経済貿易の往来は年を追うごとに増加しています。現在、年間あたり約160万人の日本のお客様が台湾を訪れているのに対し、2015年度の日本を訪れた台湾観光客は379万人となり、初めて中国大陸への観光客数を超え、台湾の観光旅行送客先としては日本が最多としました。日本への渡航者は全体の33パーセントにものぼり、2016年度の上半期の状況を見ますと2016年度は年間400万人を超える見込みです。東京や名古屋、大阪、京都、北海道、九州などは台湾人観光客にとってはすでに最も知り尽くした目的地になり、またLCCの勃興により、近年、東北の震災や原子力発電所事故、熊本地震など困難に直面している地方、人々も多いことは確かですが、それらの地方を含めて、もっとたくさんの人が渡航できるようになったこともあり、最初の海外旅行先に日本を選ぶ人は大変多い状況です。今回のモニター

ツアーを通じて、周南市には安全、美しい景勝地、グルメ、競艇などレジャー、温泉、そして温かい心を持つ人々がすむ文化社会があることを知りました。この数日の滞在・視察で、木村市長の目指されること、ご努力がよく理解できうれしく思っております。今後、周南市の観光資源の潜在的発展性を一つ一つ、パッケージ化に結び付け、周南市の宿泊、交通およびショッピングなど優れた条件を「共に」手を携えて戦略的に利益をもたらす項目として売り込めるようにプロモートしていきたいと考えます。

航空会社への周南市渡航のために有利な新路線の提案も引き続きして参ります。また、今回同行している陳千浩博士は、周南市との美酒（清酒）による交流も可能であると考えています。

今回の建議は、きわめて初歩的のものです。わたくしたちが台湾に戻りましてから引き続き具体的な方法を周南市役所との緊密なる連携を続け、方策として提出していきたいと考えています。

最後に木村市長および地域振興部の合田部長様、山本課長様、綿野係長および徳山大学の皆様に感謝申し上げますと存じます。

## Ⅶ-2. 吳景明董事長の建議

以前、台湾と岡山、山口宇部の間にチャーター便が運行されたことがあり、徳山はその中間にあるが、旅程に組み込まれることは少なかった。現在、福岡／関西あるいは福岡／広島ルートにおいて周南市への立ち寄りを組み込むことが可能である。

### (食事)

- ・周南市の特色ある食材を生かし、それらを堪能できるようなツアーをパッケージ化できる。

### (宿泊)

- ・芳山園の宿泊体験については、すばらしかったので具体的送客について協議したい。

**(観光資源)**

- ・体験型の果物が特産である地区もあり、果物の収穫体験（季節スケジュール化）、また市内ではこれだけの規模を持つ工業都市でありながら、付近では蛍がみられるなどの特色、また季節ごとの祭典の紹介やパッケージ化が比較的容易である。
- ・展示会、博覧会、コンサートなどイベントの情報を継続的に伝えてほしい。

**(安全性)**

- ・観光産業に携わる立場としては、周南市を中心とする日本は絶対的な安全性が確保されている。

**(PRについて)**

- ・やはりこうした機会をとらえて縁ができたのであるから、ぜひ周南市役所を中心とする山口県東部の情報を断続的に入れてほしい。また、周南市と台湾は至近距離であるので、頻繁に連絡を取り合って行き来を続けていきたい。

**VII-3. その他の意見について**

- ①鹿野地区の民泊宿泊体験は、民泊の皆様の心温まるおもてなしに「感激のあまり涙がでた」。
- ②鹿野地区の民泊は価格と内容についても相当の競争力があり、教育旅行など体験型だけでなく広い世代向けのパッケージ化が可能であるので、高雄餐旅大学と徳山大学のプラットフォームを通じて連絡を取りながら集客に結び付けたい。

**VIII. メディア取材・報道の成果について**

モニターツアーおよびトップセールスは各メディアに大きく取り上げられた。モニターツアーでは、2局がニュースで取り上げてくださった。また、新聞各紙も写真入りで掲載された。

一方で、木村市長のトップセールスの成果の一つとして、メディアの取材



2017年6月 紙矢健治他6名：周南市と高雄市の観光産業アライアンス構築への試み 日台・台日観光論壇2016を通じて

がある。トップセールス2日目の午前、PTS台湾公共テレビを表敬訪問し、取材の要請を行った。これによりPTS台湾公共テレビの周傳久記者と鄭仲宏カメラマンが木村市長の要請を受けて2016年3月4日から8日まで周南市の湯野温泉や福祉関連施設を取材し、3月6日（月）には周南市役所を表敬訪問し、木村市長を取材し、周傳久氏は2011年度、2013年度にも周南市内への取材実績がある。特にシルバーツーリズムについて湯野温泉の旧紅葉館を利用した高齢者入所・通所型の施設を取材・放送している<sup>10)</sup>。今回も福祉や観光のテーマでの番組を放送する予定である。周傳久氏から提案のあったシルバー世代間交流、心身に障がいがあり、本来海外旅行などとは無縁だった人たちにも周南市・高雄市2都市間の交流のチャンネルを通じ、旅行する機会を提供するような画期的な取り組みにつなげたいとの考えを持っているので、今後が続けたいと思う。

## IX. おわりにかえて

本稿は、既述の通り周南市の木村健一郎市長の発案により、筆者らが2011年度より始めた徳山大学OSP（B）を基礎に、筆者7人が台湾から周南市への安定的な観光インバウンドの誘致を目指して、周南市と高雄市の観光産業アライアンスをささえるプラットフォーム構築の集大成をはかることを目的として始められた計画の実施記録である。実施報告としての発表であるので、今後論著にまとめなおして、あらためて分析を進め、旅行社への実行あるプロモーションを継続的に行い、具体的に可視化できる成果につなげたい所存である。木村市長をはじめ周南市地域振興部の皆様、同部観光交流課の皆様の熱意により、わたくしたちは今回の貴重な交流の機会をいただいたことに心から御礼申し上げたい。

---

10) 2013年12月1、8、15、22、29日（日）19:30～19:59までの「環球新聞広場（ワールドニューストゥナイト）」において周南市の福祉・ツーリズムを放送している。市内の生和会、緑山会、下松市のくだまつ平成会などの協力を受け、5日間の放送となった。

## 謝 辞

何よりもモニターツアー及びトップセールス実施時にお世話になったKRY山口放送の関係者の皆様にまず御礼申し上げます。そして国立高雄餐旅大学と徳山大学においてイベントを実務でささえてくださった皆様に心よりの感謝の言葉を申し上げます。高雄での映像撮影のさいには、長榮大学の陳夔夔さん、陳昱翔さん、そして陳弘毅さんの熱意がなければ映像制作はできませんでした。ありがとうございました。そして遅れに遅れた入稿を忍耐強く待ってくださった徳山大学総務部の浅原様にも御礼申し上げます。

## 【関係機関ホームページ】

周南市役所

<https://www.city.shunan.lg.jp/>

長汎旅行社股份有限公司 Ever Fun Travel Services Corp. (長汎旅運)

<https://www.everfuntravel.com/>

五福旅行社股份有限公司

[http://www.lifetour.com.tw/eWeb\\_lifetour/newpage/index.html](http://www.lifetour.com.tw/eWeb_lifetour/newpage/index.html)

喬安綜合旅行社股份有限公司

[http://www.joanna.com.tw/eweb\\_joanna/index.asp](http://www.joanna.com.tw/eweb_joanna/index.asp)

国立高雄餐旅大学

<http://www.nkuht.edu.tw/main.php>

国立高雄応用科技大学

<http://www.kuas.edu.tw/bin/home.php>

徳山大学

<http://www.tokuyama-u.ac.jp/>

(関連報道)

周南市トップセールス

<http://www.peopo.org/news/323255>

陳千浩博士関連報道

台灣之光！自產葡萄酒奪得世界金牌 | 文創LIFE | 三立新聞台

[https://www.youtube.com/watch?v=dTdlLhR0kn8&index=2&list=PLLOm\\_w3Bkz-Srs0\\_JbkC5PTLrsBwT-1Ob](https://www.youtube.com/watch?v=dTdlLhR0kn8&index=2&list=PLLOm_w3Bkz-Srs0_JbkC5PTLrsBwT-1Ob)

餐旅大學技術轉移，樹生酒莊台灣蒲桃酒

[https://www.youtube.com/watch?v=y6GhDbM-TAQ&list=PLLOm\\_w3Bkz-Srs0\\_JbkC5PTLrsBwT-1Ob](https://www.youtube.com/watch?v=y6GhDbM-TAQ&list=PLLOm_w3Bkz-Srs0_JbkC5PTLrsBwT-1Ob)

臺灣酒紀錄片《敬！臺灣埔桃酒》《Cheers! Moscato Oro Vino Fortificato NV》

<https://www.youtube.com/watch?v=rna0MyjC1r4&list=PLGw0ZeI-mWN5-JE14FpcUa-3TDL911b2h>

2017年6月 紙矢健治他6名：周南市と高雄市の観光産業アライアンス構築への試み 日台・台日観光論壇2016を通じて

(資料1)

教育部区域産学合作中心105年度推動区域産学聯盟活動 台日観光産学聯盟

## 周南市日本台湾観光産業論壇2016

連動催行：周南市、徳山大学、国立高雄餐旅大学、国立高雄応用科技大学

計画主幹：陳 福川 博士（国立高雄餐旅大学観光學院助理教授）

2016年7月26日

時間	進行表	備考
14:00～	ごあいさつ 徳山教育財団 池田 和夫 理事長 徳山大学 岡野 啓介 学長	通訳：紙矢健治
14:15～	<b>【来賓紹介】</b>	
15:00	(1) 長榮集團長汎旅行社股份有限公司 董事長 吳景明 先生 (長榮航空前総経理)	台湾を代表する EVA エバー航空 社長を歴任
	(2) 五福旅行社 副董事長 陳世雄 先生	日本への渡航観 光業の先駆者
	(3) 喬安旅行社 総経理 蘇惠美 女士	南台湾を代表す る旅行社
	<b>【共同実施者】</b>	
	(1) 国立高雄餐旅大學餐旅學院助理教授 陳 千浩 博士 (Dr.CHEN, CHIEN-HAO)	台湾一のソムリエ (酒類専門家)
	(2) 国立高雄餐旅大學觀光學院副教授 甘 唐冲 博士 (Dr.KAN, TANG-CHUNG)	旅行社実務家
	(3) 国立高雄應用科技大學管理學院副院長、教授 李 一民 博士 (Dr.LI, YI-MIN)	観光業界実務家
	(4) 徳山大学経済学部教授 紙矢健治 博士 (Dr.KENJI KAMIYA)	前、国立高雄餐 旅大學副教授
15:00～	周南市と台湾の交流促進についての意見交換会	木村市長、周南 市民のイチャオシ 観光について
16:00	テーマ「周南市への台湾からのインバウンド・ロ ングステイ促進のために」	
16:00	散会	

なお、学識経験者の周南市への渡航費用等は、平成28年度周南市予算により支出されています。

(資料2)



教育部區域產學合作中心2016年度推動區域產學聯盟活動

國立高雄餐旅大學 台日觀光產學聯盟計畫

## 高雄市與周南市・台日餐旅觀光產學聯盟論壇 日本周南市與旅行業者等を対象とした観光PR

運動催行：周南市役所、長汎旅行社、徳山大学、國立高雄餐旅大學、國立高雄應用科技大學

\*2016.10.25 (火曜日)

時 間	進行表	備 考
14:00 ~ 14:10	<b>【表敬訪問】</b> 國立高雄餐旅大學 潘 江東 副校長 國立高雄餐旅大學 陳 紫玲 國際長	行政大樓 7階校長室
14:10 ~ 15:30	「台日餐旅觀光產學聯盟論壇」 <b>【開幕拍照】</b> <b>【來賓介紹】</b> <b>【來賓致詞】</b> 「日本周南市與旅行業者等を対象とした観光PR」 <b>【周南市と台湾の交流促進についての意見交換】</b> <b>【致贈感謝牌 暨 閉幕】</b>	行政大樓 6階國際會議室  **台日觀光產學 聯盟計畫主持人: 陳福川 博士
15:40	重點教學設施參觀 (機艙與酒窖)	
16:00	歡送貴賓 (お見送り)	